

夏休みおすすめ図書 ～中学生・高校生向け～

「チア男子！」 朝井 リョウ // 著 集英社 913.6ア (一般)

幼い頃から柔道に打ち込んできた大学1年の晴希は、怪我をきっかけに柔道部を退部。同じころ柔道をやめた一馬はある理由から、大学チアリーディング界初の男子のみのチーム結成を決意する。

「愛あるところに神あり」

レフ・トルストイ // 著 北御門 二郎 // 訳 あすなろ書房 983ト 新学社 908ト (一般)

マルティンという信心深い靴屋がいました。ある晩、マルティンは「明日、おまえのところに行くよ」という神様の声を聞きました。翌朝、いつ神様は来るだろうと往来をながめていると、老人が雪かきをされていて。そして…。

「人にはたくさんの土地がいるか」

レフ・トルストイ // 著 北御門 二郎 // 訳 あすなろ書房 983ト

「土地さえじゅうぶんにあれば、悪魔だってどうもできやしない」パホームの口からでた言葉を。ペチカのうしろで悪魔は何もかも聞いていました。やがて、パホームは土地を手に入れました。そして…。

「スターガール」 ジェリー・スピネッリ // 著 千葉 茂樹 // 訳 理論社 933ス

スターガールはちょっと変わった転校生。ランチタイムにウクレレでハッピーバースデーを歌ったり、味方チームだけじゃなく相手チームも応援するちょっとおかしなチアガールだったり。そんな彼女はいつしかマイカ・ハイスクールの人気者に。ところがハイスクールのバスケットボールチームが快進撃を続けていくにつれて、徐々にスターガールへの風当たりが悪くなってきて…。

「豊かなことば 現代日本の詩6 吉野 弘詩集 奈々子に」

吉野 弘 // 著 伊藤 英治 // 編集 岩崎書店 911.5ヨ

家族の営みや日々の暮らしを深く、やわらかくうたっている詩集。日々の忙しさに追われ、忘れかけていた感謝や慈しみ、家族愛を呼び起こされる、そんな作品です。

自立に向けてこれから歩み出す方々に、心あたたまるエールとなり、メッセージとなり、深く胸に届くことでしょう。

「14歳からわかる生命倫理」 雨宮 処凛//著 河出書房新社 490アマ

安楽死・尊厳死、脳死判定、新型出生前診断、優性保護法等々、今、命に関する言葉が巷には溢れています。さらに、昨今の技術の進歩により、「命」と「経済」との関係で、「命の格差」が生まれつつあります。

本書は、「命」の尊さをさまざまな立場の方々の話を紹介し、「命」を巡る問題について著した内容で、読む前と読み終えた後とで、あなたの思いが変わったか、変わらなかったか、問いかける一冊です。

「旅のラゴス」 筒井康隆 // 著 徳間書店 913.6ツ

北から南へ、そして南から北へ。突然高度な文明を失った代償として、人びとが超能力を獲得しだした「この世界」で、ひたすら旅を続ける男ラゴス。集団転移、壁抜けなどの体験を繰り返し、二度も奴隷の身に落とされながら、生涯をかけて旅をするラゴスの目的は何か？異空間と異時間がクロスする不思議な物語世界に人間の一生と文明の消長をかつちりと構築した爽快な連作長編。今なお人気のロングセラー作品です。